

科目名		外国事情ⅡB (Foreign Affairs ⅡB)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	経営情報学科	学修	1単位	必修	講義	後期	45時間		
担当教員		【常勤】 准教授 挾間 雅義、助教 根岸 可奈子							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景をもとに、国際機関や経済圏、対象国についての知識を身に付けることができる。 ・異文化コミュニケーションの事例を通して今後の国際交流に役立てる。 ・異文化交流の事例を中心に諸外国との関係を理解し、自分の見解を述べる。 ・諸外国の多文化政策などを学び今後日本との関係など自分の見解をまとめる。 ・文化の多様性、中層性などを理解しグローバルの時代に備えたい。 							
到達目標(評価項目)		優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
到達目標①		異文化を理解し、交流の際自分なりの工夫ができる	異文化を理解し、交流の際役立つ	異文化が理解できる	異文化が理解できない				
到達目標②		異文化コミュニケーションの事例を通して諸外国との関係を理解し、自分の見解を述べるができる	異文化コミュニケーションの事例を通して諸外国との関係を理解し、全体をまとめることができる	異文化コミュニケーションの事例を通して諸外国との関係を理解できる	異文化コミュニケーションの事例を通して諸外国との関係をまとめることができない				
到達目標③		諸外国の政策や文化などを通してこれからの日本との関係など自分の見解をまとめることができる。	諸外国の政策や文化などを通してこれからの日本との関係をまとめることができる。	諸外国の政策や文化をまとめることができる。	諸外国の政策や文化をまとめることができない。				
学習・教育到達目標		F③④		JABEE基準1(2)		(a)			
達成度評価(%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合	45	45		10					100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎							/
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】		◎		◎					
汎用的技能【情報収集】		○		○					
態度・志向性(人間力)【主体性】				○					
総合的な学習経験と創造的思考力【創成能力】	◎			◎					

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	外国事情ⅡA (Foregin Affairs ⅡA)
教科書	
補助教材等	
学習上の留意点	
<p>各種講義やニュースで登場する国や地域について理解を深める前提条件として、最低限各国・地域の概況やその背景にある政治・歴史について覚えてもらうことになる。異文化を学ぶということは自国の文化を知っていることが前提になるので、外国人に日本の文化を紹介できるように準備しておく必要がある。また、紹介する国に対する基礎知識を知ったうえで授業に臨んでほしい。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>外国を学ぶことで異文化コミュニケーションなどを学ぶことができる。異文化間のコミュニケーションと一緒に考える授業にしていきたい。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	授業内容紹介	授業の概要や方法について理解する	(予習) 日本と関係が深い国々を中心に位置を確認しておく。 (復習) 今後取り上げる諸国・地域を中心に、基礎知識を調べておく。
2	グローバリゼーション	「グローバリゼーション」をめぐる歴史や政治に関して理解する。	(予習) 様々な場面で用いられる「グローバリゼーション」という用語であるが、これがどのような場合どのような意味で用いられているのかを整理しておく。 (復習) 「グローバリゼーション」が近年始まった事象なのかそうではないのか、講義を元に考え見解を述べる。(国際機関の意義と役割についても同)
3	国際機関	国連を中心とした国際機関の役割や課題について理解する。	(予習) 主要な地域経済圏について、その位置と包含される国々について確認しておく。 (復習) それぞれの経済圏がどのような特徴をもっているのかを確認しておく。また、今後日本がこれらとどのような関係を築いていくのか独自の見解を述べられるようにしておく。
4	国際政治の歴史	現在の国際政治体制ができるまでの過程を歴史的に理解する。	(予習) 各国について事前に調べておくこと。 (復習) それぞれの国の概況を確認しておく。また、それら諸国と日本の関係について独自に見解を論ぜられるようにしておく。
5	異文化交流	日本の中の異文化の事例を理解し、説明できる	
6	EU	EUおよびEUが内包する国々の概要について理解する。	
7	NAFTA	アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ3か国の経済圏について理解を深める。	
8	ASEAN	ASEAN諸国の概況を理解すると共に、多くの日本企業が進出している同地域との経済的関係を理解する。	
9	中間試験		
10	台湾	台湾の経済、社会、文化的要素について理解する	
11	韓国	韓国の経済、社会、文化的要素について理解する	
12	オーストラリア	オーストラリアの経済、社会、文化的要素について理解する	
13	ロシア	トルコの経済、社会、文化的要素について理解する	
14	トルコ	トルコの経済、社会、文化的要素について理解する	
15	まとめ	授業全体をまとめる	
総学習時間数			45 時間
講義			30 時間
自学自習			15 時間